

持続可能な地域コミュニティづくり推進検討会議

(1) 取組目標

県と各市町の地域づくり担当職員のネットワークを強化するとともに、地域コミュニティづくりに関する講義や勉強会の開催、県内外取組事例の研究等を実施し、市町による地域住民への支援の活性化を図ります。

また、若者の力を地域コミュニティの活性化に生かすため、県事業「地域コミュニティと若者をつなぐきっかけづくり事業」において、若者同士のネットワークをつくり、仲間とともに地域づくりの経験を積み、地域づくりに携わるきっかけづくりを行うとともに、市町との連携に向けた情報共有を行います。

(2) 検討メンバー

市 町		県
津市／地域連携課	菰野町／企画情報課	◎地域連携部／地域支援課
四日市市／市民生活課	朝日町／企画情報課	地域防災総合事務所
伊勢市／市民交流課	川越町／企画情報課	地域活性化局
松阪市／地域づくり連携課	多気町／企画調整課	
桑名市／地域コミュニティ課	明和町／生活環境課	
鈴鹿市／地域協働課	大台町／企画課	
名張市／地域経営室	玉城町／総務政策課	
尾鷲市／市民サービス課、政策調整課	度会町／総務課	
亀山市／まちづくり協働課	大紀町／総務企画課	
鳥羽市／市民課、企画財政課	南伊勢町／まちづくり推進課	
志摩市／総合政策課	紀北町／企画課	
伊賀市／地域づくり推進課	御浜町／企画課	
木曾岬町／総務政策課	紀宝町／企画調整課	
東員町／政策課		

※「◎」は代表

(3) 現状および課題

人口減少および少子高齢化のさらなる進行に伴い、コミュニティ機能の低下は、中山間地域のみならず、県内のより多くの地域における共通課題となっています。

そのため、地域住民が主体となった地域コミュニティの維持やさまざまな課題に向

けた取組が持続性を持って進められるよう、市町は住民にとって最も身近な自治体として地域の実情に応じた支援を行い、県は広域性等の観点から市町の取組を支援するなど、県と市町がそれぞれの役割をもとに、一層、連携を強化して取り組むことが必要です。

また、将来にわたる地域コミュニティの担い手となる若者の参画が課題となっており、より多くの若者の参画を促進する必要があります。

(4) 開催実績

令和3年8月18日	第1回検討会議	①県事業「地域コミュニティと若者をつなぐきっかけづくり事業」の実施状況報告 ②持続可能な地域コミュニティづくりに関するアンケート結果について
9月30日	第1回勉強会	①自治会の現状と関りについて（グループ討議） ②「地域コミュニティ」に関する考え方について
11月11日	第2回勉強会	①持続可能な自治会活動に向けた男女共同参画の推進について ②各市町での取組について
1月20日	第2回検討会議	①中間支援組織視点からみた、地域コミュニティの現状と課題 ②県事業「地域コミュニティと若者をつなぐきっかけづくり事業」について

(5) 検討状況

①第1回検討会議

- ・各市町へ事前に持続可能な地域づくりに関するアンケートを行い、その結果を共有しました。また、市町が行っている施策や取組、地域づくりに関する困りごとなどについてグループに分かれて意見交換を行ったところ、共通の課題が挙がったため、それをテーマとした勉強会を開催することとしました。
- ・県事業「地域コミュニティと若者をつなぐきっかけづくり事業」の令和2年度および令和3年度の取組内容について、情報提供を行いました。
- ・令和2年度検討会議から引き続き、皇學館大学 准教授 池山敦氏を、令和3年度会議・勉強会全体のアドバイザーとして招きました。

②第1回勉強会

- ・第1回検討会議の意見交換において出た課題を踏まえ、自治会の加入状況や今後の自治会に対する市町としての関わり方などについて、グループに分かれて意見交換を行い、その内容を全体で共有しました。

③第2回勉強会

- ・県ダイバーシティ社会推進課より「持続可能な自治会活動に向けた男女共同参画の推進」について説明を行いました。また、鈴鹿市および玉城町から地域コミュニティに関する取組紹介を行いました。説明を受けて意見交換を行う中で、発表した市町以外の市町からも取組紹介が行われたほか、今回の情報交換を受けて今後の取組に生かしていきたいなどの発言があり、市町間のつながりを強化する機会となりました。

④第2回検討会議

- ・特定非営利活動法人Mブリッジ 石丸隆彦氏を招いて、「中間支援組織視点からみた、地域コミュニティの現状と課題」について、講演を開催しました。中間支援組織として行政と地域住民どちらにも関わっている立場から、行政側からだけではなく、地域住民の側から見た課題などについて学びました。また、検討会議のアドバイザーである皇學館大学 准教授 池山敦氏から、総括コメントをいただき、令和3年度検討会議の振り返りをするとともに、次年度の検討にむけた課題整理等を行いました。
- ・県事業「地域コミュニティと若者をつなぐきっかけづくり事業」の令和3年度の取組内容について、情報提供を行いました。

(6) 取組成果

県および各市町の担当者が、地域コミュニティに関する取組や課題を、検討会議において情報共有や意見交換を行い、そこで出た課題等について、検討会議メンバー以外の、課題に関係する市町担当者も参加できる勉強会を開催するなど、各市町の取組などについて情報共有の機会を設定することで、市町間のつながりの強化、参加者間のネットワーク強化につなげることができました。

また、県事業「地域コミュニティと若者をつなぐきっかけづくり事業」において、若者同士のネットワークづくりや地域での実践を行うことで、若者が地域づくりに携わるきっかけづくりを進めるとともに、市町への情報共有を行うことができました。

(7) 今後の方針

令和4年度においても、引き続き検討会議を設置し、県と各市町の情報共有や職員の知識・スキルの向上を図るとともに、共通の課題・関心をテーマにした勉強会等による学びや意見交換の場を設けるなどの取組を進めます。

また、引き続き、県事業「地域コミュニティと若者をつなぐきっかけづくり事業」を実施し、市町と連携して若者の力を地域コミュニティの活性化に生かすための取組を進めます。

(8) 取組に対する自己評価

目標に対する取組成果がおおむね発揮されました。

(判断理由等)

検討会議において情報共有や意見交換を行い、そこで出た課題等について、検討会議メンバー以外の、課題に関係する市町担当者も参加できる勉強会を開催するなど、各市町の取組などについて情報共有の機会を設定することで、市町間のつながりの強化、参加者間のネットワーク強化につなげることができました。